

中学校国語 第1・2学年

各学年共通した課題		文章の構成や展開、表現の効果を捉えること	
学年	設問	設問のねらいと問題の概要	正答率(%)
1	大問4 ⑪	○ 文章の構成や展開を把握し、表現の効果について考える力	60.7
2	大問4 ⑭	○ 文章の表現の効果を捉える力	57.0

【復習のポイント】～中学校第1・2学年の皆さんへ～

各学年とも、次のような点が課題となっています。

- 文章の中で、どのような表現をしているのか、どのように展開しているのかを読み取ること。
- 読み取った表現や捉えた展開は、読み手に対してどのような効果が働いているのかを考えること。
- 根拠を明らかにして、表現の効果を書いたり、発表したりすること。

【チャレンジ問題】これらのことが、できるようになるための力を、次の問題で試してみよう。

- ① 次の文章はテレビ放送の天気予報の一部です。___部の「それでは」の働きとして、最も適切なものをあとの1から4までの中から一つ選びなさい。

今日は日中、全国的に気温が上がり、春らしい陽気となりました。今夜は所により強い風が吹くことが予想されますので、注意してください。それでは、各地の明日の天気をお伝えします。

- 1 前に述べたことを受けて自分の意見につなぐ働き。
- 2 前に述べたことを切り替えて次の話題につなぐ働き。
- 3 前に述べたこととは反対のことにつなぐ働き。
- 4 前に述べたことを言いかえる言葉につなぐ働き。

『令和7年度第1回アセスメント問題』より一部改

- ② 次の文に使われている表現の技法の名称を答えなさい。また、それと同じ表現の技法が使われているものをあとの1から4までの中から一つ選びなさい。

そこにいるなら何とか云え^いばいいのに、まるで空家^{あきや}のようじゃないか。

夏目漱石『吾輩は猫である』より

- 1 もっともっと昔の話だよ。
- 2 見たことのない、でもなつかしい感じのする町並み。
- 3 水を得た魚みたいに、おさえていた力を発揮しているね。
- 4 それではいけないのではないかと、おれは思う。

【チャレンジ問題】の答え

① 2

※ 接続詞の働きを理解することは、文章の組み立てや展開を正確に読み取るための基礎となります。

② 比喩(明喩)、3

※ 表現の技法について名称やその効果を整理しておくことは、それを書いたり、読み取ったりするときの基礎となります。